

# 6月～7月りんご生産情報



令和4年6月  
JAつがる弘前  
岩木地区営農

現在りんごの肥大は平年を上回っております。全般的にカラマツが見られるものの概ね着果量は確保できると思われま。最終着果量を意識して「強め」に摘果するようにしましょう。

今後はアブラムシ・ダニの発生が見られる時期となります。発生状況に応じて防除薬剤の散布は遅れないようにしましょう。また、腐らん病の発生が多く見られます。見つけ次第適切に処置しましょう。

## ☆肥大状況

肥大状況は全品種平年をやや上回っています。

6月10日現在 (単位cm)

地点	つがる			ジョナ			王林			ふじ		
	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
五代	3.2	3.1	3.1	3.4	3.5	3.3	3.1	2.9	2.9	3.0	2.8	2.7
百沢	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7	2.8	2.7	2.7	2.6	2.4	2.3
東目屋	2.6	2.5	2.6	2.4	2.6	2.5	2.5	2.4	2.5	2.4	2.1	2.2
西目屋	1.8	2.0	2.1	1.7	1.9	2.1	—	—	—	1.7	1.8	1.9
りんご研		3.4	2.9	—	—	2.8	—	—	—		3.2	2.6



## ☆今後の作業

◆仕上げ摘果	○最終着果量を意識して果実形質の劣るものをすぐるようにしましょう。
◆徒長枝の整理	○不要な徒長枝を整理して、日光や薬剤が内部まで行き届くようにしましょう。
◆袋掛け	○袋掛け前に着果量を確認し、7月10日頃まで袋掛けを終えるようにしましょう。 ○殺菌剤散布後5日以上経過した場合はオーソサイドなどで実洗いを実施しましょう。
◆追肥	○6月末までに、樹勢に応じて、わかみどりを10a当り1袋を目安に追肥しましょう。

## ☆薬剤散布

シンクイムシ類の防除時期となります。「7月初め」には合成ピレスロイド剤を使用し、毎回防除剤を使用しましょう。

また、近年炭そ病や褐斑病などの発生が見られます。散布予定日に降雨が予想される場合は前倒して散布するようにしましょう。

回数 (散布量)	散布時期 (散布日)	【無ボルドー方式】			【ボルドー方式】			防除上の注意
		薬剤名及び 混合順序	倍数	1,000倍 当り薬量	薬剤名及び 混合順序	倍数	1000倍 当り薬量	
7 (500ℓ)	6月下旬	ジマンドイセン	600倍	1.67kg×1袋	ICボルドー	50倍	5kg×4袋	◎ボルドー液散布時の目安 ①6月20日以降 ②毛ぶるい期以降 ③肥大25ミリ以上
		モスピラン	4,000倍	250g×1袋	モスピラン	4,000倍	250g×1袋	
		ダニオーテ※2	2,000倍	250ml×2本				
		カルマッチ	770倍	1.3kg×1袋				
8 (500ℓ)	7月初め	オキシンドー	1,200倍	835g×1袋	ICボルドー	50倍	5kg×4袋	アブラムシが多い場合は、コルト 6,000倍又はトランスフォーム 4,000倍も使用する。(ボルドー 方式の場合はウララ又はトランス フォームを使用)。
		アーデント	2,000倍	250ml×2本	アーデント	2,000倍	250ml×2本	
		カルマッチ	770倍	1.3kg×1袋	コロマイト	1,000倍	500ml×2本	
9 (500ℓ)	7月半ば	オキシンドー	1,200倍	835g×1袋	ICボルドー	50倍	5kg×4袋	前年に褐斑病が発生した園 地では、7月中～下旬にト ップジンM1,500倍も使用 しましょう。
		エクシレル	5,000倍	200ml×1本	エクシレル	5,000倍	200ml×1本	
		コロマイト	1,000倍	500ml×2本				
		カルマッチ	770倍	1.3kg×1袋				

## ◆殺ダニ剤の適用表

発生予察を行う場合は、ナミハダニは樹幹内部、リンゴハダニは目通りの高さの新梢中位葉を調べましょう。

散布目安は1葉当たり2個体以上複数枚の葉に確認された頃、殺ダニ剤を散布しましょう。



薬剤名	倍数	収穫前 日数	リンゴ ハダニ	ナミ ハダニ	サビ ダニ	ボルドー 混用	1000倍 当り	使用 回数	備考
マイトコーネ	1000倍	前日		○		不可	1000ml	1	ナミハダニにのみ効果あり。
スターマイト	2000倍	前日	○			不可	500ml	1	リンゴハダニに効果あり
ダニコング	2000倍	前日	○			不可	500ml	1	リンゴハダニに効果あり
エコマイト	2000倍	7日	○	○	○	不可	500g	1	成虫に対して効果が低い為、発生初期に散布する
オマイト	750倍	3日	○	○		不可	1.34kg	1	7月末までの使用は避ける。高温時の散布は避ける
ダニオーテ	2000倍	前日	○	○		不可	500ml	1	銅剤との近接散布不可、銅剤散布後の使用不可
コロマイト	1000倍	前日	○	○	○	可	1000ml	1	6月末までの使用は避ける ボルドー混用では散布直前に混用する
アカリタッチ	2000倍	前日	○	○		不可	500ml	-	成虫にのみ効果あり

※1.殺ダニ剤は薬剤抵抗性が出やすいので各剤年1回の使用とする。また、スターマイト・ダニコングは合わせて年1回の使用とする。

※2.ダニオーテは銅剤と混用しない。銅剤を散布した後は使用しない。また、散布後に銅剤を使用する場合は10日以上散布感覚をあける。